

2. 指標設定

成果指標	指標名	医療費の助成		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-2-1)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	助成件数		b	c		d	
	数値	目標	—		目標	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
医療費の助成		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 助成件数	件	37,521 件	41,186 件	53,742 件
b		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
就学児を対象とした助成については、財源が基金(3億円)によるため、概ね平成27年度以降の財源確保が課題となる
対応（改善点等）
対策について検討要する

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

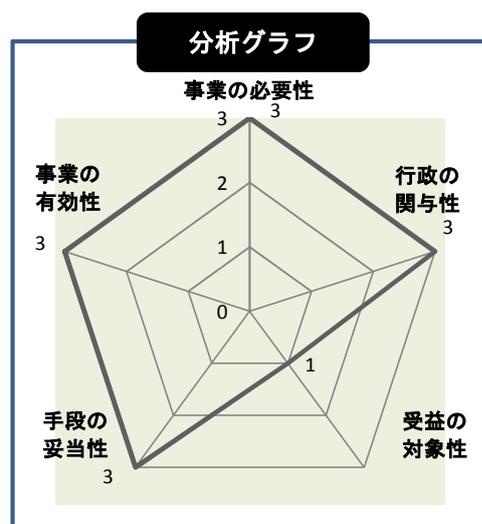
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		68,429	374,897	100,801	120,098
うち経常経費		68,429	60,958	63,028	76,326
財源内訳	国費				
	県費	25,241	22,097	23,401	22,800
	市債				
	その他		13,929	34,420	50,976
	一般財源	43,188	338,871	42,980	46,322
うち経常		43,188	38,861	39,627	46,322
事業費に係る人件費		16,216	12,458	12,263	12,470

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
本事業は、県の補助事業であり、現行制度で推移するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 疾病の早期治療と保健の向上、保護者負担軽減のため必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 民間による実施ができない
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 中学生以下を対象としているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 乳幼児について現物給付方式としているため、適当であると判断する
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 保護者負担の軽減が図られており、有効性は高いと判断する



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	目的達成のため財源の確保を図ること